

今、大山を超えよ

浦和南高等学校
進路指導部通信

2021年12月15日
発行 第8号

進路指導主事より

共通テスト1カ月前！ 各年次、それぞれ目的をもって充実した冬休みに！

期末考査も終わり、3年次は、いよいよ共通テスト1カ月前となりました。試験が近づき、不安や焦りを感じてしまう人もいられるかもしれません。そんな時こそ、入試までの日数を逆算して、やるべきことをコツコツと計画的に進めていきましょう。蛍雪時代12月号に「やってはいけない5つの失敗」という記事がありました。以下に、要点を紹介します。(もっと詳しく知りたい人は、各教室にある蛍雪時代を読んでみてください。)

- ①失敗 演習をするだけ(やりっぱなし) ⇒ 対策 「演習⇒穴を発見⇒補強」のサイクル。ヌケをなくす！
- ②失敗 時間配分の練習不足 ⇒ 対策 時間を意識した練習を行う。「練習は本番のように 本番は練習のように」
- ③失敗 学習の教科バランスが悪い ⇒ 対策 全教科を定期的に、苦手教科を集中的に。バランスよく！
- ④失敗 過去問を活かせない ⇒ 対策 解いた後、しっかりと分析し、「問われ方」「出題の意図」を意識する。
- ⑤失敗 生活リズムの乱れ、焦り ⇒ 対策 学校に軸足を置いて、いつも通りに過ごす。規則正しい生活リズムを。

どうでしょうか。やるべきことに優先順位をつけて、「チーム南高」団体戦で、みんなで乗り越えていきましょう！ 現役生は最後まで伸びます！「受験の日が自己ベスト！」という気持ちで、前向きにチャレンジしてってください。(この後の記事・「進路担当の先生から」、大井先生の受験体験記「3年生の冬の過ごし方」は必読！)

2年次は、1年後の自分の姿を想像してみてください。共通テストは、国公立志望の人はもちろん、私大も共通テスト利用入試があります。進学を考えている人は全員が受験をしてみてください。ぜひ、この冬休み、自分の進路や志望大学、その入試科目について調べてみましょう。「情報は、自分からつかみにいく！」という気持ちが大切です。そして、講演会で山内先生が話されていた、「受験生としての意識」「主体性」「アウトプットを意識した学習＝説明できる！」を思い出して、受験生0学期をスタートさせましょう。

1年次は、入学してから9カ月が経ちます。高校での学習スタイルは確立できたでしょうか？ この冬に、これまでの復習をしっかりと行って、今のうちに弱点を補強しておいてください。(1年のことは1年のうちに！)

それぞれが主体的に考え行動し、「伸びていく・高め合う集団！＝チーム南高」となって、充実した冬休みを過ごし、新年・そして3学期を迎えましょう！
(福田)

裏面は特集「一年後の入試～0学期に向けて～」総合型/学校推薦型選抜についての注意をまとめました。また、3年生の方はぜひ、2学年進路の先生からのお話にも目を通していただきたいです……！

模試/試験

2021年 12月

日	月	火	水	木	金	土
	29	30	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

進路指導室 お休み 12/29～1/4
用がある方お早めに！その他平日の
不在時は学年の先生へ相談願います

2022年 1月～

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 ① 進研 記述	12	13	14	15 共通 テスト
16 共通 テスト	17	18	19	20	21 ① ② 午後 英検	22
23	24 ③ 自宅学 習開始	25 ② 進研 記述	26	27	28	29
30	31	2/ 1 ② 進研 マーク	3	4	5	

2022.1.15(土)
～16(日)
大学入試
共通テスト
本番まで
(12/15 現在)
あと

30日!

各学年進路より

さあ南高生よ、今こそ大山を超え福をつかめ！！

1年 <進路担当:守屋先生、開米先生、豊田先生>

3学期からの学習をスムーズに始めるために、これまでの取り組みを振り返り、**冬休みの計画**を綿密に立てましょう。

(1)学習習慣・方法を点検する。

- ① 平日(1.5 時間)と休日(3時間)の勉強時間は、最低限確保できているか。全く勉強しないという日がないか。
- ② 勉強開始時間は決まっているか。場当たり的な学習になっていないか。
- ③ 「理解すること」や「考え方」に重点を置いているか。「暗記」だけに偏っていないか。

(2)定期テストや模擬試験の結果を振り返る。

- ① 今までの定期テストや模擬試験で間違えた問題を解き直す。
- ② 「答えがあっていたかどうか」よりも「考え方があっていたかどうか」に注意して自己採点する。
- ③ 「考え方がわかっていなかった問題」については、考え方を理解することから始め、類題に取り組む。
- ④ 「考え方がわかっていたが間違えた問題」については、「なぜ間違ったのか」という原因を探り、再度解き直す。

(4)冬休みの計画を立てる。

「この教科のこの分野の学習を必ずやる」と具体的に決めてから記入しましょう。1月には課題考査、進研模試、英検など、試験が目白押しです。冬休みの期間は短いのに、やるべきことはたくさんあります。ただ「消化する」のではなくて、**未来の(なりたい)自分をイメージして「挑戦する」**という意識で臨みましょう。

2年 <進路担当:秋元先生、阿部先生、山崎先生>

個人的な話ですが、現在の3年生が2年生のときに全学級の授業を担当していました。今年度も選択教科で授業を担当しています。12月に入り、3年生から学校推薦型入試や総合型選抜入試で大学に合格しましたと報告を受けるようになりました。特に学校推薦型入試の場合は学校からの推薦を受け、浦和南の看板を背負い入試に臨むという意味では、大きなプレッシャーを感じていた人も多いかもしれません。報告に来た生徒の顔には一様に安堵感が見られました。報告に来た彼らに伝えているのは、**来年のためにしっかりと記録を残してあげてください**ということと一般入試の生徒たちのためにしっかりと学校生活を送ってくださいということです。また、総合型選抜で不合格だった生徒やこれから一般入試に臨む3年生は今が一番不安や心配が募る時期かもしれません。しかし、授業の終わりに毎回のよう質問に来たり、この時期の模試で「これまで受けてきた中で一番良い結果を出すことができました」と報告に来てくれたりする生徒の様子を見ると、改めて私も最後までしっかりと授業を行い、彼らを応援したいという気持ちになります。

そして、2年生にも常々言っているのですが、今の**3年生の様子を来年の自分事としてほしい**ということです。無事に終えた研修旅行はみなさんがこれまで感染症による制約に耐えてきた中で、高校生活を彩る大きな思い出にできたと思います。ここからは具体的に受験や進路に向かっていく時期です。先日行われた進路講演会の中で秋元主任がおっしゃっていた通り、**3学期は受験生0学期**です。具体的になにをしいか分からないという人は講演会の中にたくさんのヒントが詰まっています。もう一度自分が書いたメモを見返してみてください。自分なりに考えた人は必ずなにか行動ができるはずです。目には見えませんが、冬の間に樹木の根は育ちます。この冬にどれだけ根を伸ばすことができるかで来年にどんな花が咲くか決まります。この冬、みなさんの根を大きく伸ばしましょう。

3年 <進路担当:西川先生、永井先生、奥田先生>

いよいよ、大詰め。共通テストまであと1か月。今確認しておくことを列挙しておきます。もう少しだ、頑張ろう。

①『**一般選抜に向けて**』

募集要項、出願書類、受験料振込、出願締切を再確認すること。大学によってはweb出願時に、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度について入力せよ」という記入欄がある。事前確認の上、入力時に備えて、文章化しておこう。1週間に1回はHPを確認するなど、最新情報は自分の責任で入手すること。

②『**アウトプット中心の学習へ**』

アウトプット(問題演習)する中で、忘れていた部分やわかっていなかった部分をインプットする学習に切り替えること。新しい問題に着手することは大事であるが、知識を整理し、問題を考える上で利用できる真の知識に変えていくほうがより大切なこと。これまでの模試の振り返りや、過去にできなかった問題に再チャレンジすると抜けている箇所がブラッシュアップされるはず。本番レベルを確かめるためには、赤本の活用が最適！

③『**焦らずに本番を迎える準備をする**』

受験カレンダーをもとに、1月からの自分の予定を明確にイメージすること。心身ともに疲れる時期に入るからこそ、事前準備を怠らず、学習時間や静養時間に充てることのできる時間を確保するように努めよう。

「今の時期、何をやっておけばいいですか?」「これから、どんな風に勉強したらいいですか?」

こんな言葉を、進路指導部として一年中聞いてきました。しかし、今の時期のこの言葉に最も重みがあるのは3年生たちでしょう。カレンダーにある通り、共通テストまであと一か月を切るのですから……。

ところが、高校2年生の皆さんの中には実は、試験の結果がわかるまであと1年無いという人がいるのですが、お気づきでしょうか?そう、**総合型選抜**と、**学校推薦型選抜制度**を利用する場合です。注意していただきたいのが、時々「塾で『総合/推薦で決まったら後は遊べるから!』って言われました。」……と相談されることについて。入学までに学力が落ちないようにしないといけаниいのですから、そんなに甘くないですよ。ちなみに、一般入試に関わる注意もあります。

筆記試験だけが入試ではない世の中になってきました。保護者の方にも伝えたい、そんな入試の準備の実際について触れてみました。この冬から始めることができるものを考える材料にしてください!

その1: 入学手続き……この時期まとまったお金が必要になることも



実は、一般入試で第一志望校を受ける生徒(保護者)も注意していただきたい点。それは「**一般入試との併願が可能な学校を、総合型や推薦型で受験したいかどうか**」です。

押さえとして年内に入学金を支払っておくという戦略を、実行できるのか……。

一般入試だけをイメージしていたら、生徒からいきなり年内入試を受けたい、と相談される場合もちろんあるでしょう。保護者の方は、生徒の受験方策を把握したうえで、どのタイミングでどのような出費があるか、それが現実として可能かどうかは、率直に生徒と話しておいていただきたい部分です。ぜひ、お願いします。

その2: 準備時間は有限 一かくこと、はなすことが要求されたら一

小論文試験がある入試の場合、テーマが学校から事前に提示されることは少なく、その場で提示されたものに対応することになります。また、一般入試で小論文が課されることも。試験の前までに、複数のテーマで小論文の練習が何回できたかがカギになる部分です。そして、学びたい分野についての基礎知識が無ければ、書くことができない出題がほとんどです。関連分野の本に、目を通し始めましょう。➡進路のしおり P93

過去問が非公開の場合も多いので、自分が学びたい学校/分野について、早めに情報を集めておきましょう。何より「自分がなぜその学校に入りたいか、文章で的確に表現できるか」「与えられたテーマにそって、800字を60分で書くこと」ができる**タイプ**なのか?そして**一般入試に向けた準備も並行してやれるか**、やれなくても**巻き返しをはかれるタイプ**か。冷静に分析してください。面接は、いわずもがなですね。

さて、あなたは/お子さんは、どのようなタイプですか?

その3: 事前の課題が多種多様である

◎何かしらの作品を生み出す学校の入試

<各種アート、建築、書道などの道、etc>

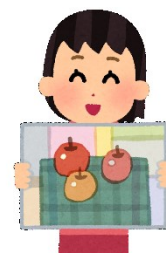
→ これまで制作した作品をポートフォリオとして作成し、当日『この作品で訴えたいことは何であるか』など深く質問された/どのような作品が好きかを問われ、なぜ・どこが好きかを聞かれた 等の体験談が多いです。

◎自分が高校で成し遂げてきたことを問われる事前提出物

<志望理由書、自己PR書、プレゼン資料>

→ リーダーシップを発揮できたか、探究的な活動は何をしてきたか、などを、志望理由書と別に書かせる学校がほとんど。また、総合型では自分のやってきたことをプレゼンテーションさせたり、大学の授業に実際参加して取ったノートを提出させたり、といった課題もあります。

特に、注意してほしいのが『実技やものづくりを主とする学部学科が課す入学試験』。高校生活全体を通じた、計画的な準備が必要となります。美大、音大などをを目指す生徒は、すぐに芸術科の先生方へ相談しましょう!



実技科目(美術系、音楽系だけではなく建築学でも、平面構成などのデッサンを要求される場合がある)が受験項目にある場合、とにかく早めに専用の対策を始める必要があります。

特に、美術を学びたい、音楽を学びたい!という場合、専門の予備校(画塾、音楽教室など)に通う必要があります。ブルーピリオドを読んでいる人ならわかるよね。そして、マンガやドラマ、小説、社会情勢に研究結果など、**大衆の心を揺さぶったモノが世で注目されれば、その方面に志望者が集中することはよくあること**なのです。

まずは、あなたが何を学びたいか、それがはっきりしたらすぐに行動に移すことが可能かどうか。この冬、動き出していこう!二年生は十か月後、一年生は二十二か月後、その時はやってきます。



12月特別寄稿 3年生の冬の過ごし方

3年生の冬休みが人生で最も机に向かって勉強した時でした。

3年生の冬休みが人生で最も銀だこに通った時でした。

3年生の冬休みが合格できた最大の要因でした。

私は、自宅で集中できないタイプです。3年の9月までは授業と定期考査のみ勉強していました。9月河合模試の結果もすべてE判定でした……。部活を引退した9月以降、本格的に受験勉強に取り組みました。平日は学校の自習室を使わせて頂き、土日は地元の図書館に開館時間から閉館時間まで通いつめました。勉強時間帯は生活リズムであった部活の時間を継続しました。平日は放課後練、土日は1日練と同じ時間帯でやっていました。

しかし、11月位から伸び悩んだり、この勉強法であっているのかなとか凄く不安になっていて、正直受かる気がしなかったです。同じクラスで国立志望のハンド部とサッカー一部の友達に、そんな話を銀だこでぶちまけたら、2人も全く同じだったみたいで少し安心しました。3人とも部活漬けで、塾にも通ったことがなかったので、勉強法があっているのか、何をしたらいいのかすらも分からず、とりあえず目の前にあるものをなんとなくやっていました。危機感を感じ、9科目を1人3科目に割り振って、まず「勉強法」を勉強しようと決めました。私の担当は、数学ⅠA・数学ⅡB・日本史Bだったので、サイトで調べたり、先生方や先輩・姉さんに聞いたりして勉強法を勉強しました。**3人が調べてきたことの共通点は「1冊の参考書を極める」「問題を解きまくる」ということでした。**3人ともあっちこちの参考書に手を出しては、問題演習は後に取りっておこうとしていました。翌週の月曜日に、先生方にこれやれば間違いない参考書1冊教えてください！と聞きまくりました。3人で同じのを買って表紙がはがれるくらいやりこんで、毎週金曜日に銀だこお疲れ様会(略して**銀様**)を開き、問題を出し合ったりしました。私は、曜日でやる科目を1つ決めて一問一答→赤本を繰り返しました。私立でも国立でも使う**英語**に限っては、毎日赤本の大問1つは解くと決めて頑張りました。徐々に赤本で問題になって、参考書で基本的な用語が入ってきたことにより、1月2月は問題解くことが楽しくなっていました。友達二人が難関私立大学に合格できてとっても嬉しかったのですが、進学先をそこにすると話を聞いたときは複雑な思いでした……。そこから1か月は先生方に声をたくさんかけてもらい、お陰で何とか踏ん張れました。国立二次前期がまさかの不合格。卒業式の時には後期の結果待ちでクラス一人だけ来年度の進学先が決まっておらずちょっと寂しかったのを覚えています(河合塾が進学先の人もいました)。2日後の後期試験発表で合格させて頂いて、無事に大学受験が終わりました。今思えば、冬休みに1冊の参考書を徹底的にやり込んだこと、赤本を毎日解きまくったこと、友達と息抜きを銀だこでできたこと、先生や家族に支えてもらったこと、この12月～2月の頑張りが最後の最後つないでくれました。国立後期試験の現代文の文章が、抑えの私立大学赤本の問題と同じだったんです!!!本当に救われました。

最近とっても寒くもなってきました。3年生の皆さん、体調に気を付けてながらも「頑張ってください」。いつでも進路室にお尋ねください！ がんばれ！3年生！！ 大井陽平



編集Yのあとがき～お礼と共に～

「進路に必要な情報を届けたい」「色んな先輩・先生の声届けたい」

進路通信を作ることになったきっかけは色々ありますが、編集Yが気を付けているのはこのあたりです。後者はまだまだかな……と思っていた所で、皆さんからのアンケートにも後押しされる形で寄稿が実現できました。ありがとうございます！今後もちょくちょく依頼したく思いますので、先生方もご協力ください。

進路通信には課題があります。それは、「届かせる」という点です。初めて完全に電子化した発行物とまでは言いませんが、やはり目に触れるのは紙の方が確実なのかな……とも思いつつ、環境配慮の面も含めて紙面は必要な方に必要な分だけ、というスタンスでやっていこうと思います。しかし、教室に配布した書面はあまり減っていませんでした。また年度の終わりにアンケートを取れたらいいなと考えています。どうすれば皆に届くか、これからは模索していきたいと思います。それではどうか、よいお年を！